

様式第 6 号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 5 年 3 月 2 3 日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字本郷南方 4 0 6 1 番地
名 称 本郷まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 小倉 俊二
電話番号 0 9 8 5 - 6 9 - 8 3 0 9

令和 4 年 9 月 6 日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第 1 9 条第 1 項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

事業実施報告・収支決算（見込）書

事業別収支計算書

積立金管理状況報告書

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

本郷まちづくり推進委員会備品管理台帳

地域協議会の意見書

1 総括

本会は、本郷だから出来る事、本郷だからやるべき事を楽しく実施することを目標に活動している。今年度は、コロナ禍の中、大規模なイベントは実施出来なかったが、地域と学校の協力の元、地域一体となり、様々な活動に取り組んだ。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	4,328,000	4,328,000	0	
繰越金	1,216,303	1,216,303	0	
協賛金	240,000	250,000	10,000	
負担金	190,000	100,000	90,000	
利息	0	28	28	
合 計	5,974,303	5,894,331	79,972	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備考
防	青パト活動支援事業	8年目	159,000	107,480	51,520	
防	本郷地区防災事業	8年目	393,000	266,788	126,212	
防	本郷地区防災啓発事業	3年目	424,000	400,940	23,060	
防	防災かまどベンチ設置事業	5年目	323,000	314,937	8,063	
防	防災かまどベンチ整備事業	1年目	228,000	197,550	30,450	
福	子育て支援事業	4年目	80,000	54,359	25,641	
環	山崎川にホタルを飛ばそう事業	8年目	55,000	29,635	25,365	
環	緑のカーテン事業	8年目	15,000	10,930	4,070	
環	本郷花いっぱい事業	6年目	200,000	167,617	32,383	
再	まつり本郷の交流事業	7年目	16,060	16,060	0	
健	健康ウォーキング実施事業	1年目	150,000	65,043	84,957	
文	本郷ふるさと再発見事業	8年目	160,000	65,426	94,574	
教	自然体験学習事業	8年目	386,940	355,462	31,478	
教	ふれあい夢広場事業	7年目	170,000	162,774	7,226	
他	広報誌の発行事業	8年目	1,200,000	826,286	373,714	
他	OA 機器等購入費等積立事業	3年目	100,000	100,000	0	
他	本郷地区拠点施設事例視察事業	2年目	260,000	75,498	184,502	
他	本郷地区景観整備支援事業	2年目	30,000	29,975	25	
他	まちづくり活動支援事業	8年目	1,624,303	1,239,981	384,322	
	繰越金			1,407,590	1,407,590	
	合 計		5,974,303	5,894,331	79,972	

[第 1 号議案]

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	青パト活動支援事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標：安心して暮らせる本郷 地域の安全は地域で守りましょう 登下校時間や夜間パトロールを行い地域の安全を守ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域安全確保のための青パト隊を支援し、隊員の募集と活動を支援する。 (本郷地区安全パトロール隊の協働事業)</p>														
事業内容・手段	<p>1. 現在活動中の青色パトロール隊(21名)の支援活動を推進した。 2. ハロウィンで青パト啓発活動を行った。 10月30日(日)JA宮崎中央駐車場にて開催 3. 本郷地区安全パトロール隊の活動向上、及び地域団体との繋がり支援のため、青パト10周年記念行事に合わせ、自治会連合会・地域事務所・学校・青少協・警察との意見交換会を行った。</p>														
事業費	107,480円														
対象者	本郷地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>75人</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>590人</td> <td>295人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>665人</td> <td>386人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	75人	91人	スタッフ	590人	295人	合 計	665人	386人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	75人	91人													
スタッフ	590人	295人													
合 計	665人	386人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>巡回時に、多くの子ども達が青パトを見ると、手を振って挨拶をしてくれたり地域の方から「いつもごろうさま」や、「青パトが地域を回っていると安心します」との声や、朝の登校時間に「横断歩道は歩行者優先」の旗を掲げていると挨拶をしてくれる方が多いことも、活動にも励みが出ます。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	各学校や自治会、住民からの直接的な要望を毎月の青パト会議で把握する。	広報	事業の周知	A	A	車載スピーカーを利用し防犯呼びかけを行う。 信号機のない横断歩道での幟旗を使った安全啓発活動を行う。
	住民の参加	B	B	本郷地区青少年育成協議会の指導部会との巡回を行っているが、今年はコロナのため実施できなかった。		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の安心安全のため、青パト隊の活動を支援し、推進する。			住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	通年、学校や地域の行事に青パト隊が見守りや、巡回協力を行っているが、今年はコロナのため実施できなかった。	事業継続の必要性		○有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 住民の方から「最近横断歩道で待っている人がいると停まる車が多くなった」と聞きました。信号機の無い横断歩道で「横断歩道では歩行者優先です」の幟旗を掲げることで、安全啓発に寄与出来ているのだろうと思いでいます。 犯罪抑止力になればと考え、居住地の近くの公園等への一人徒歩巡回を継続していますが、子供たちと直接話せる機会にもなっています。 また、ハロウィンでの青パト啓発活動では多くの子どもと保護者が来られて、青パトを知っていただくのにとっても良かったと思います。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	本郷地区防災事業	実施年数	8年目																														
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし																															
地域魅力発信プランとの関連	基本目標：災害に強い安心の本郷 防災訓練・防災学習に参加しましょう 地域住民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちをつくります																																
目的 (期待される効果)	地域住民の防災意識の向上、自治会・自主防災隊のスキルアップ、消防団等関連団体の連携強化																																
事業内容・手段	<p>1. 防災かまどベンチの補修を行った。 6月19日(日)国富ヶ丘児童遊園</p> <p>2. 「ほんごう防災備えの巻」を基に防災講座を実施した。 7月12日(火)福祉協力員対象 7月19日(火)民生児童委員、自治会、まち推関係者対象(2回講座)</p> <p>3. 本郷中学校、本郷小学校、国富小学校に設置済みの防災倉庫資機材の点検実施 10月16日(日)本郷中学校、本郷小学校、国富小学校</p> <p>4. 本郷地区自治会連合会と協力し、本郷地区全体の防災訓練を実施した。 12月11日(日)本郷中学校・国富ヶ丘児童遊園・まなび野中央公園 本郷北方街区公園</p>																																
事業費	266,788円																																
対象者	本郷地域住民																																
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>資機材点検 かまどベンチ修繕 防災講座</th> <th>防災訓練</th> <th>資器材点検 かまどベンチ修繕</th> <th>防災訓練</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>26人</td> <td>303人</td> <td>-人</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>消防団</td> <td>0人</td> <td>40人</td> <td>-人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>59人</td> <td>69人</td> <td>14人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>85人</td> <td>412人</td> <td>14人</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年度	令和4年度		令和3年度		資機材点検 かまどベンチ修繕 防災講座	防災訓練	資器材点検 かまどベンチ修繕	防災訓練	一般参加者	26人	303人	-人	172人	消防団	0人	40人	-人	30人	スタッフ	59人	69人	14人	28人	合計	85人	412人	14人	230人
年度	令和4年度		令和3年度																														
	資機材点検 かまどベンチ修繕 防災講座	防災訓練	資器材点検 かまどベンチ修繕	防災訓練																													
一般参加者	26人	303人	-人	172人																													
消防団	0人	40人	-人	30人																													
スタッフ	59人	69人	14人	28人																													
合計	85人	412人	14人	230人																													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>防災訓練は本郷中学校をメイン会場として、一時避難所である3公園を指定して避難訓練を行った。特に中学校は防災教育(1年生)総合学習として取り入れ、避難所運営を6月から学び、最後の仕上げとして、防災訓練に参加した。保護者も参加しており、有意義で貴重な体験となったと先生は評価された。</p> <p>各公園では、炊き出し、自主防災資機材の点検・取扱い、水消火器の消火訓練、「ほんごう防災備えの巻」の説明等を行い、防災意識の向上を図った。</p> <p>各地区のアンケート結果は中学生が集計して報告された。</p>																																

評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）＜本郷地区防災事業＞

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	本郷北街区公園を追加して要望に応えた。	広報	事業の周知	A	B	中学校地区は訓練内容が異なるので別チラシとして配布。
	住民の参加	A	A	公園周辺や予め指定された地区の住民の参加があった。			事業の効果	問題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	連合会と共催することで単位自治会の防災力向上に寄与する。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	連合会、地域消防団宮崎市職員、中学校との連携。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 総合学習の中学生の参加があり、SDGs、コミュニティスクールで地域連携が図られ、継続されることになる。また、県立看護大の学生ボランティアの派遣があり、今後、大学との連携も検討していきたい。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞						対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	本郷地区防災啓発事業（風水害編）	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：災害に強い安心の本郷</p> <p>防災訓練・防災学習に参加しましょう</p> <p>地域住民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちをつくります</p>														
目的 (期待される効果)	<p>新型コロナ対策で災害発生時、指定避難所等では感染拡大リスクが高まることから、分散避難が勧められている。住宅及び指定避難所に避難する場合の備えをポスター（保存版）に作成して全戸配布する。地域住民には具体的に役立つ内容で活用できる。</p>														
事業内容・手段	<p>専門家を交えて検討して、風水害編を作成する。避難については、行政情報も関係することから十分協議を行う。令和2年度「地震編」令和3年度「土砂災害編」のシリーズとする。</p> <p>1. 「ほんごう防災備えの巻 風水害編」本郷地域全世帯配布ポスティング 令和4年8月8日（月）～18日（木）</p>														
事業費	400,940円														
対象者	本郷地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	17人	スタッフ	12人	14人	合 計	12人	31人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	17人													
スタッフ	12人	14人													
合 計	12人	31人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>（ほんごう防災備えの巻・風水害編発行）</p> <p>8月に「本郷防災備えの巻」（風水害編）をポスティングして全戸に配布した。本郷地区防災訓練でも参加者に風水害編チラシの説明をし、概ね理解していただいた。「本郷防災備えの巻」を利用した防災講座を実施したが、（民生委員、福祉協力員対象）自治会に出向いた講座や何回でも繰り返し聞くことが大切との意見も寄せられた。今後講座を定期的開催する事が必要である。</p> <p>災害に備えること（備蓄品等）のきっかけになったという意見も多くあった。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）＜本郷地区防災啓発事業＞

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	近年、台風や豪雨災害が多く発生し、住民の危機意識も高まっている。	広報	事業の周知	A	A	全戸配布することで地域住民に周知することが出来る。
	住民の参加	B	B	防災講座を自治会に呼掛けて開催したが、参加者が少なかった。	事業の効果	問題解決への作用	A	A	保存版として配布したので、今後住民意識がどのように高まったか確認する必要がある。防災講座を地域に出向いて開催。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	防災訓練（自治連共催）では、概要説明を訓練項目に入れており、部会委員が担当している。		住民の満足度	A	A	防災訓練でのアンケートでは満足度は高い。
	各種団体との連携	A	A	自治連との共催で事前打ち合わせもやっている。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p>＜良かった点や改善した点等＞</p> <p>風水害編は台風、大雨の備えとして、子供がいる家庭や高齢者のいる家庭と特に注意しなければいけないことを強調した。</p> <p>事前に予測できる災害であるので、マイ・タイムライン（防災行動計画）の考え方を記載した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>＜地域協議会からの意見（令和4年3月22日）＞</p> <p>作成するパンフレットに、避難所へ持参する最低限必要な物資の掲載を検討してほしい。</p> <p>＜意見への対応＞</p> <p>物資の掲載は、地震編で掲載している。シリーズ化するため、風水害編は、マイ・タイムラインを掲載した。</p>						対応	未・済	
	<p>＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞</p> <p>＜意見への対応＞</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

提出しない

3 事業報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災かまどベンチ設置事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和4年度(再開)	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：災害に強い安心の本郷</p> <p>防災訓練・防災学習に参加しましょう</p> <p>地域住民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちをつくります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>本郷北方街区公園(地震指定避難場所)かまどベンチの設置を行い、防災対策の向上を図る。</p>														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の防災訓練にて、山崎台グリーンハイツの住民からかまどベンチの設置要望があり、本郷北方街区公園(地震指定避難場所)にベンチの設置を行う。 ・宮崎市建築士会に製作の指導をお願いする。山崎台グリーンハイツの地域住民が主として行い、まち推も連携して事業をすすめる。 ・座板の部分を耐食性の高いミラクル杉を使用する。 ・材料等の原価高騰のため増額する。 														
事業費	314,937円														
対象者	本郷地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>19人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>23人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	平成30年度	一般参加者	19人	19人	スタッフ	23人	30人	合計	42人	49人
年度	令和4年度	平成30年度													
一般参加者	19人	19人													
スタッフ	23人	30人													
合計	42人	49人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・立派なかまどベンチを作っただきありがとうございました。今後いろいろな面で活用させていただきたいと思います。もっと団地の人たちに参加があると良かったと思いますが、多くの協力でできたことに感謝いたします。</p> <p>・地域住民の高齢化で自主防災隊活動も機能していなかったが、事前の除草や資機材の点検等で見直しの機会になった。自治会の方々や子供たちも参加して、楽しかったとの感想もあり、今後、愛着を持って使用いただけるものと思う。12月の避難訓練では他の地域からも大勢の参加があった。</p>														

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）＜本郷地区防災事業＞かまどベンチ設置事業

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		昨年の防災訓練で住民・自治会長の要望があった。	広報	事業の周知	B		対象自治会住民に広報
	住民の参加	A		自治会員、子供会連合会の参加。		事業の効果	問題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		建築士会との調整が必要であり、継続してきた実績から効果的に取組んでいる。	事業の必要性		住民の満足度	B	
	各種団体との連携	A		連合会が自治会間の調整をしている。					
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 今回は4カ所目であったが、塗装剤にカキシブを使う等（建築士会の提案）環境に配慮した改善もあった。これを機会に自主防災隊の認識が改めてなされた。							
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞					対応	未・済	
		＜意見への対応＞						未・済	
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞					対応	未・済	
		＜意見への対応＞						未・済	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災かまどベンチ整備事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和4年度	終了：令和4年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：災害に強い安心の本郷</p> <p>防災訓練・防災学習に参加しましょう</p> <p>地域住民の防災意識の向上を図り、災害に強いまちをつくります</p>														
事業内容・手段	<p>本郷地域に設置している4基のかまどベンチの点検を毎年行っているが、雨ざらしで座板の傷みが早いため、耐食性の高い素材で整備・修繕をする。 (本郷中学校・希望ヶ丘街区公園・平田街区公園・国富が丘児童遊園)</p> <p>・ミラクルすぎは地域のべんちにも使用され、実績あり。</p> <p>・宮崎県建築士会に制作・設置をお願いする。</p> <p>1月14日(土) 国富ヶ丘児童遊園・平田街区公園</p> <p>1月21日(土) 本郷中学校・希望ヶ丘街区公園</p>														
事業費	197,550円														
対象者	本郷地域住民														
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>-人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>-人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6人</td> <td>-人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	-人	スタッフ	6人	-人	合 計	6人	-人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	-人													
スタッフ	6人	-人													
合 計	6人	-人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・座板部分を変更して、自治会から喜ばれた。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）＜かまどべんち整備事業＞

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-	かまどベンチの座板部分は塗装剤など工夫がされているが、毎年塗装が必要であるため、材質の丈夫な座板に変更を検討した。	広報	事業の周知	-	-	特になし
	住民の参加	-	-	住民の参加なし		事業の効果	問題解決への作用	A	-
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-	妥当である	事業の必要性		住民の満足度	A	-
	各種団体との連携	A	-	本郷中学校 希望ヶ丘自治会 東宮花の森自治会 国富が丘自治会		事業継続の必要性			有・ <input checked="" type="radio"/> 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。提出しない

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	子育て支援事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：平成27年度 再開：令和元年度（平成29.30年度休止）	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷 気楽に集まれる場を作りましょう。 地域で子育てしやすい環境づくりを推進します。														
目的 （期待される効果）	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにする。														
事業内容・手段	本郷児童館と共催。未就学児の親子、小学生を対象に本郷児童館で年数回実施。 令和4年 5月14日（土）：こどもまつり 令和4年 6月22日（水）：子育て講演会 令和4年 7月16日（土）：なつまつり 令和4年10月19日（水）：ほほえみ運動会 令和4年11月 6日（日）：ふれあい文化祭 令和4年12月17日（土）：クリスマス会 令和5年 1月18日（水）：親子で音遊び														
事業費	54,359円														
対象者	地域住民														
参加者数 （内訳）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>193人</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>213人</td> <td>162人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	193人	148人	スタッフ	20人	14人	合 計	213人	162人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	193人	148人													
スタッフ	20人	14人													
合 計	213人	162人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・孫が楽しそうに行事に参加している姿が見れ嬉しかった。 ・子どもの遊ぶ場所、連れて行く場所が減ってきているのでとてもありがたい。 ・講演会で球根のキズを例えて話して下さったことが、とても心に残りました。自分の中で、こう育って欲しい、自分みたいにならないで欲しいと言う思いで子どもに色々言ってしまいましたが、先生のおっしゃられた、その子自身のありのままをしっかり受け止めて、これまでの自分を反省し「良かったね！」を子育てのキーワードにして前向きに頑張りたいと思いました。 ・すぐに子育てに繋がられる凄く素敵な講演会に参加出来て良かったです。 ・音遊び、凄く楽しかったです。また参加したいです。 ・なかなか体験できないような企画（音遊び）とても楽しく、参加出来て嬉しかったです。 ・小さな子どもを惹きつけるのは大変だと思うのですが、先生は子ども達の興味を引き付け素晴らしいと思いました。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	児童館及び地域児童とその保護者のニーズに答えている。	広報	事業の周知	A	A	児童館便り まち推广報誌 自治会班回覧にて活動報告
	住民の参加	A	A	児童館に通う未就学児及び小学生。地域住民・中学生ボランティア。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	子育て支援はもちろんのこと、今後の地域活動参加の担い手となる子育て世代への地域活動への参加促進のためにも必要である。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	本郷児童館			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 子育てに悩む保護者を対象に子育て講演会を実施している。今回も参加者から大変喜ばれ、今後も実施して欲しいとの声が多かったため、今後も継続して実施していきたい。その他、子どもの心身の発達を促す音楽教育リトミックを取り入れた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	山崎川にホタルを飛ばそう事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本計画：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷</p> <p>景観をよくしましょう。</p> <p>山崎川の環境美化等に取り組み、ホタルが生息する川として地域住民に愛されるふるさとづくりを目指します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>河川の草刈り、美化活動及び水質浄化に取り組み、ホタルの飛ぶ川として地域住民に愛される本郷地区ふる里づくりを目指す。また、他団体との連携を図り会員の負担軽減に努める。</p>														
事業内容・手段	<p><美化活動・草刈り> 令和4年4月1日～令和5年3月31日(通年)</p> <p><ホタルまつり>(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 令和4年5月7日(土)8日(日)</p> <p><カワニナ採捕>(藻の大量発生によりカワニナが激減し採捕不可のため中止) 令和4年9月9日(金)</p> <p>協力団体：山崎川をきれいにする会・赤江未来の会・本郷獅子舞会</p>														
事業費	29,635円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	7人	スタッフ	15人	23人	合計	15人	30人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	7人													
スタッフ	15人	23人													
合計	15人	30人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>山崎川の環境整備で汚泥や枯れ木の清掃をしていると、路行く地元の方々が、必ず声掛けをしてくれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいにしていただき、ありがとうございます。 ・淀みが無くなりましたね。 ・今年もホタルが待ち遠しいです。 ・お手伝いしましょうか？ ・ありがとうございます。 ・魚が増えたのではないですか？ ・でかい鯉が泳いでいましたよ。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	初夏の風物詩、ホテルの乱舞を豊かな自然のある山崎川の水辺で見ることができ、また親子で生体学習と鑑賞ができることから地域住民に大変喜ばれている。	広報	事業の周知	A	A	自治会班回覧にて飛翔報告。地域掲示板、広報誌にて報告・掲載。「本郷ホテルの里」を発表。
	住民の参加	A	A	本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、住民の参加はなし。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	ホテルの餌であるカワニナの採捕地で藻が大量発生し、カワニナの生息が見れない。今後は、カワニナの飼育が必要と思われる。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	本郷地区自治会連合会、本郷地区生涯学習推進協議会、本郷小学校、本郷中学校、本郷獅子舞会、赤江未来の会、山崎川をきれいにする会、各本郷地域法人			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 藻の大量発生により、ホテルの餌であるカワニナ採捕が出来ず、今後の課題となった。餌の種類と水域での共存方法に今後は改善が必要である。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	緑のカーテン事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p><u>基本目標：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷</u></p> <p>景観をよくしましょう。</p> <p>緑のカーテンを設置し環境美化に努めるとともに、次世代に担う子ども達を育成します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>環境にやさしい緑のカーテンを公共の施設に設置し、地域への浸透を図る。子ども達に植物を育てる事に関心を持ってもらい、水やりなどを通じて成長過程及び収穫の喜び、食感を学習してもらおう。</p>														
事業内容・手段	<p><ゴーヤ苗植え付け> 令和4年 5月18日(水)本郷児童館</p> <p><スナップエンドウ苗植え付け> 令和4年10月27日(木)本郷児童館</p>														
事業費	10,930円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>20人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24人</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	20人	15人	スタッフ	4人	2人	合計	24人	17人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	20人	15人													
スタッフ	4人	2人													
合計	24人	17人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が興味を持ち世話している姿が良かった。 ・ゴーヤ、スナップエンドウの成長過程を観察でき良かった。 ・自分たちで育てた物を収穫し、食することができ良かった。 ・西日が遮られ良かった。 ・水やりが楽しかった。 ・苗を初めて植えて嬉しかった。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	児童館のニーズに込えている。	広報	事業の周知	A	A	児童館便り まち推广報誌 自治会班回覧にて活動報告
	住民の参加	A	A	児童館に通う未就学児及び小学生			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	西日を遮るものがない児童館には必要。また、子どもたちの食に関する興味や関心を育てる体験の一つとして必要である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	本郷児童館			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 日常で作物の成長過程を観察、収穫する機会の少ない子ども達にとって大変良い事業であると思われる。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	本郷花いっぱい事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<歴史ある本郷・歴史をつくる本郷> 景観をよくしましょう。 地域全体で花いっぱいの本郷を目指します。														
目的 (期待される効果)	花いっぱいの本郷、住民が笑顔になるまちづくりを目指す。本郷地区は、地域の高齢者と子ども達と一緒に花苗を植え、生きがいと励みになる明るいまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>美化活動 通年</p> <p><花苗植栽 JA 宮崎中央花壇 本郷地域事務所></p> <p>令和4年 5月31日(火): 耕運他美化活動</p> <p>令和4年 6月 2日(木): 花苗植栽・下南方千とせ会(老人クラブ)</p> <p>令和4年 6月 6日(月): 花苗植栽・国富小栽培委員会</p> <p>令和4年11月 1日(火): 耕運他美化活動</p> <p>令和4年11月 4日(金): 花苗植栽・下南方千とせ会(老人クラブ)</p> <p>令和4年11月 7日(月): 花苗植栽・国富小栽培委員会</p> <p><花苗植栽 豆田川></p> <p>令和4年10月 2日(日): 耕運他美化活動</p> <p>令和4年10月 4日(火): 花苗植栽・国富小栽培委員会</p> <p>令和5年 1月31日(火): 耕運他美化活動</p> <p>令和5年 2月 6日(月): 花苗植栽・国富小栽培委員会</p>														
事業費	167,617円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>104人</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>25人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>129人</td> <td>143人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	104人	107人	スタッフ	25人	36人	合計	129人	143人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	104人	107人													
スタッフ	25人	36人													
合計	129人	143人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも花壇に花が植えられ、手入れされていて幸せな気持ちになります。 ・花を見ながら散歩するのが楽しみです。 ・本郷地域のあちこちで花が綺麗に咲いているのは嬉しい事です。 ・毎日のお手入れ、お疲れ様です。 ・植えた花が大きくなり、花が咲くのが楽しみです。 ・綺麗に咲く花を見ると心が明るくなります。いつもありがとうございます。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）＜花いっぱい事業＞

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	近隣住民や通行人等の声を直接聞き、ニーズの把握に努めている。	広報	事業の周知	A	A	チラシ自治会班回覧地域掲示板 広報誌にて、事業実施報告。
	住民の参加	A	A	老人クラブや近隣小学校の栽培委員会と共に実施している。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	美しい花に喜ばれるだけでなく、ゴミも捨てられなくなった。更に美観が保たれており、まち推の取組として妥当である。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	老人クラブ千歳会 国富小学校栽培委員会			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 花が終わりを迎える頃、「ご自由にお持ち帰りください！」の案内板を出したところ、地域住民にも喜ばれ、また撤去作業等の手間も省け大変良かった。							
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未・済	
	＜意見への対応＞								
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞						対応	未・済	
	＜意見への対応＞								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載す

3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	まつり本郷の交流事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p><u>基本目標：子育てしやすい本郷</u></p> <p>親子で地域の行事に参加しましょう。</p> <p>「子は宝」をテーマに地域住民や学校、各種団体等が連携を図り地域全体で子ども達を育むまちづくりを目指します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>「まつり本郷」の中で、地域の活性化を図る。まつり本郷実行委員会と本郷自治会連合会の三者で協働することにより地域の繋がりを深め、ふるさとの祭りとして子ども達に引き継いでいく。また、まちづくり推進委員会のブースを設けてPRを行い実行委員の一員として関わる。</p>														
事業内容・手段	<p><まつり本郷> (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>期日：令和4年9月24日(土)</p> <p>場所：JA 宮崎中央駐車場</p> <p>時間：14:00～20:00</p> <p><中止のお知らせのチラシを配布></p> <p>令和4年5月初旬</p>														
事業費	16,060円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度(中止)</th> <th>令和3年度(中止)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>17人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度(中止)	令和3年度(中止)	一般参加者	人	人	スタッフ	17人	人	合 計	17人	人
年 度	令和4年度(中止)	令和3年度(中止)													
一般参加者	人	人													
スタッフ	17人	人													
合 計	17人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	まつりが開催されず残念です。(多数)														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握				広報	事業の周知	A		中止の案内チラシを配布、回覧した。 ・各学校 P 戸数配布 ・自治会班回覧
	住民の参加						事業の効果	課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性				事業の効果	住民の満足度			C
	各種団体との連携			本郷十二支会 本郷地区自治会連合会			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年8月17日）> まつり本郷については、開催場所の選定等の問題もあるが、子ども達に喜んでもらうために花火の打ち上げも検討してみてもどうか。 <意見への対応> 花火打ち上げの検討した結果、様々な問題があり事業化は難しいと判断した。事業変更し、今年度は別事業を実施した。						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	健康ウォーキング実施事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和4年度	終了：令和4年度													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標：子育てしやすい本郷・高齢者にやさしい本郷</p> <p>本郷フットパスの整備</p> <p>地域住民の健康保持、増進を図る。</p>														
目的 (期待される効果)	ウォーキングマップを片手に地域を巡ることによって、歴史や景観を再認識します。更にストレッチや正しい歩き方を学び実践することがで地域住民の健康増進に繋がります。														
事業内容・手段	<p>まち推事業（ウォーキングコースの整備やマップ作成）を周知するため、地域内団体に呼び掛けて、オープニング行事を実施した。ウォーキング前にJ3テグバジャー口選手3名を招いて、小中学生と保護者との交流を行った。</p> <p><健康ウォーキング・交流会></p> <p>日程：11月23日（水）</p> <p>場所：本郷中学校体育館</p> <p>本郷中学校よりウォーキングに出発（ウォーキングマップBコース）</p> <p>主催：本郷地区青少年育成協議会</p> <p>協力団体：本郷地区体育会・本郷地区自治会連合会</p>														
事業費	65,043円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>66人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>34人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	66人	人	スタッフ	34人	人	合計	100人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	66人	人													
スタッフ	34人	人													
合計	100人	人													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>今回の事業は、Jリーグのタイトルパートナーである「明治安田生命」殿の協力で実現でき、また社員十数名がボランティアとして参加された。</p> <p>本郷中学校のサッカー部の生徒も参加しており、プロの選手と直にボールを蹴り合い、楽しいひと時であった。新富では選手と一緒にウォーキングするイベントも開催されている。本郷でも実施出来たら良いなと思う。</p> <p>途中、地域住民から掩体壕の説明があり、松井用水路付近では、ホテルの事など、地域の取り組み活動の紹介もあり、歴史・環境にも関心をいただいた。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		健康維持のため、年中ウォーキングしている人は多い。マップには色々な情報が記載されているので多くの住民に活用してもらいたい。	広報	事業の周知	B		学校関係のみの広報で自治会等は口コミであったために、一般の参加者が少なかった。
	住民の参加	A		オープニング事業であったために、学校を中心とした参加であった。年間を通して別の機会を増やしていきたい。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		健康福祉部会の事業であるが、コロナ禍の中で、看護大での健康フェスタからスムーズに変更できた。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	B		青少年の行事を利用して計画したが、各団体の打ち合わせ回数が少なく、周知されていなかったためやや混乱した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> オープニング事業は、テゲバチームのサポーターを増やすメリットがあり、他の団体との交流を含めて、今後の運営を考えるきっかけになった。 地区社協では、マップコース（まち推作成のウォーキングマップ）を活用したウォーキングを定期的実施している。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月 日）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	本郷ふるさと再発見事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p><u>基本目標：歴史ある本郷・歴史をつくる本郷</u> 歴史を探し伝えましょう 本郷地域の歴史を地域で知り、伝え、郷土愛の醸成を図ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>本郷地区の文化や歴史及び景観の特性を学び、考えることを通じ、ふるさとへの興味や関心を高め、知識の習得、郷土愛の醸成を図ることを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>1. 歩こう会：本郷地区青少年育成協議会と連携の「歩こう会」に協力する。 今年度は、「歩こう会」のコースの協力をする。 日程：11月23日(祝・火)</p> <p>2. くどみ・ほんごう絵画コンクール チラシ配布：7月22日(金)国富小学校・本郷小学校配布 投票：9月8日～9月18日(本郷地域事務所隣接掲示) 投票結果：9月21日(水)</p> <p>3. 表彰式(各小学校・校長室) 日程：10月27日(木)国富小学校 日程：11月9日(水)本郷小学校</p> <p>3. 昔なつかしい写真募集 まちづくりが自治会に設置している16基の掲示板に掲示。 きらり 本郷広報誌掲載、本郷公民館にチラシ設置 日程：8月1日(月)</p> <p>4. 子どもかぐら体験(2回) 日程：9月(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 日程：11月27日(日)実施</p>														
事業費	65,426円														
対象者	本郷地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>75人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>38人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>113人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	75人	27人	スタッフ	38人	34人	合計	113人	61人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	75人	27人													
スタッフ	38人	34人													
合計	113人	61人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>(ぶらり本郷探険まっぷ) ・まっぷの見直しをし、改定することで情報も新しくなり見やすくなった。</p> <p>(かぐら体験) ・9月はコロナのため中止となった。 ・11月に行われたかぐら体験は、参加者が年々増え賑わっている。</p> <p>(歩こう会) ・青少年育成協議会の歩こう会で掩体壕説明の協力を行った。</p> <p>(くどみ・ほんごう絵画コンクール) ・本郷地域の各小学校にPTA戸数配布。年々興味を持ってもらい人数が増えてきている。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善） <本郷かぐら体験>

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	興味はある様だが、地域伝統の継承が望まれる。	広報	事業の周知	A	A	本郷地区各小学校にP個数配布。
	住民の参加	A	A	かぐら体験募集のチラシを神社にお願いし、早くからポスターの掲載をおこなった。		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷かぐらをより多くの人に知ってもらうために、盛り上げていく。	事業の必要性		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	本郷山華会と連携する事で、かぐらやししまいなど詳しい説明ができた。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 参加者が年々増えてきてるが、場所のスペースに限りがあるので人数の制限を考えた方がいいか悩むところです。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）（歩こう会）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	青少協として、長年続いている行事に協力をする。	広報	事業の周知	A	A	青少協が、広報を行った。
	住民の参加	A	A	本郷地域の小学校、中学校と保護者及び教職員の参加。		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	本郷まちあるきを生かせる事業である。	住民の満足度		A	A	新たな発見があり郷土愛が増した。
	各種団体との連携	A	A	青少協と連携して行った。	事業継続の必要性		◎・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 「ぶらり本郷探検まっぷ」に記載している掩体壕について説明協力ができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）（くどみ・ほんごう絵画コンクール

/本郷の昔話や写真募集)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	昔の写真を残して欲しい要望がある。	広報	事業の周知	A	A	夏休みの課題とさせてもらった。 国富小学校・本郷小学校にP戸配布する。
	住民の参加	A	B	昔の写真については集まらなかった。 絵画コンクールは、本郷地域の小学校の夏休みの課題として学校にお願いした。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	妥当である。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	A	A	本郷地区自治会連合会 本郷公民館 国富小学校 本郷小学校			事業継続の必要性		◎・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・本郷の昔話や写真募集の情報収集の仕方を考える。 ・絵画コンクールは、学校に向いて校長室で表彰式を行い子どもたちに喜ばれた。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	自然体験学習事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：歴史ある本郷、歴史をつくる本郷 景観をよくしましょう。 次世代を担う子ども達と自然環境や景観を守り育てます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>子ども達に、身近な河川の大切さを知ってもらうとともに、山崎川に生息する生き物やホタル等の水生生物観察を通じて命の尊さを学習してもらう。また、小学校等の総合的な学習(自然体験学習)支援は、地域住民一体となって自然環境を保全する「魅力ある本郷地区ふる里づくり」及び「後継者育成」を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>内容：山崎川等の美化活動及び自然観察、調査等の指導 対象：本郷小4年生(120名) 時期：第1回 令和4年 5月18日(水)：山崎川の話し、水生生物・ホタル学習 きれいな川づくりの話しなど(オンライン授業) 第2回 令和4年 6月 8日(水)：水質調査、水生生物調査 第3回 令和4年 9月21日(水)：コスモスの種蒔き 第4回 令和4年10月26日(水)：景観教室、灯ろうづくり 第5回 令和4年11月 6日(日)：灯ろうまつり 第6回 令和4年12月 4日(日)：総合的な学習発表会「発見！山崎川自然環境」 協力団体：山崎川をきれいにする会・赤江未来の会・宮崎技術士会・宮崎県建築士会・国土交通省・宮崎土木事務所・宮崎県中央保健所</p>														
事業費	355,462円														
対象者	本郷小学校4年生120名														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,050人</td> <td>1,129人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>115人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,165人</td> <td>1,232人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,050人	1,129人	スタッフ	115人	103人	合計	1,165人	1,232人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,050人	1,129人													
スタッフ	115人	103人													
合計	1,165人	1,232人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>○山崎川の自然体験学習は、体験した児童達から4年生に進学すると楽しい学習があると引き継がれている。</p> <p>○総合的な学習発表会【“発見！！山崎川の自然環境”】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の話しや生物を自然体験学習において、ダムが出来て増える生き物(オイカワ・ヘラブナ・カワサギ)ダムが出来て減った生き物(ドジョウ・アユ・カワムツ)や上流域の清流に棲む(ヤマメ)などを調べて発表した。 ・水質階級から山崎川の水のきれいさを判断した。 ・ホタルや生き物、鳥などを調べグループごとに紙芝居にして発表した。 ・ホタルの光る要因は、発行する物質と発光を助ける物質がホタルの体内の酸素と反応して光を出すことが分かった。 ・コスモスについて、種類と種蒔き時期や開花時期、撒き方、育て方、水のやり方など花の特徴を調べて発表した。 <p>この山崎川は、多くの市民に親しまれ、児童たちの良い環境学習の場となっている。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	子ども達は、思い出に残る学習となり、保護者も多く参加している。コスモスの咲く小径の利用者が年々増えている傾向が見られ、安全で健康な散歩コースとなっている。	広報	事業の周知	A	A	まち推広報誌 保護者への案内 地域掲示板 自治会班回覧にて活動報告 児童投稿の新聞報道 UMK「のびよ！みやざきっ子」報道
	住民の参加	A	A	各学習に地域住民が先生となって助言、指導するこの連携は、学校側の信頼の基に実施され、協力する住民にも好評である。また、宮崎県立看護大学生のボランティア参加があり大変良かった。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校との連携に計画、実施、経費等は、まち推の取り組みとして定着し必要不可欠である。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	山崎川をきれいにする会、赤江未来の会獅子舞保存会、宮崎技術士会、宮崎県建築士会、国土交通省、宮崎土木事務所、宮崎県中央保健所、宮崎市環境政策課			事業継続の必要性	有・無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、予定通り実施でき良かった。 ・水生生物、水質調査等の用具類が整備できたことにより、時間内に助言・指導が出来る。 ・灯ろうまつりは、殆どの子ども達と保護者家族等が参加するイベントとなってきた。また、PR効果もあり、周辺住民の参加も多く見られた。 ・灯ろうまつりスタッフに看護大学生のボランティアを募集し、協力を得たことにより準備、後片付けなどがスムーズにできた。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済	<意見への対応>		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	<意見への対応>

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[7] 地域教育に係る事業

事業名	ふれあい夢広場事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p><u>基本目標：子育てしやすい本郷</u> 親子で地域の行事に参加しましょう。 発表の場が子ども達のやる気を伸ばすとともに、地域の方々と触れ合う機会となり、地域全体で子ども達を育むまちづくりを推進します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>青少年の健全な育成を促進するため、本郷の子ども達の日頃の学生生活や活動の努力を賞賛し、地域の方々とのふれあいの場とする。また、本郷まちづくり推進委員会の周知、広報の場とする。</p>														
事業内容・手段	<p>ふれあい夢広場 日時：令和4年11月6日(日) 場所：本郷公民館</p> <p>標語ポスター作成 令和4年12月20日(火)</p> <p>協力団体：本郷地区青少年育成協議会</p>														
事業費	162,774円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度(中止)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>80人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>90人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度(中止)	一般参加者	80人	12人	スタッフ	10人	3人	合 計	90人	15人
年 度	令和4年度	令和3年度(中止)													
一般参加者	80人	12人													
スタッフ	10人	3人													
合 計	90人	15人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発表が素晴らしく大変感動した。 ・子ども達の考えていることに驚き、とても感動した。 ・掲示板に自分の標語が貼り出され嬉しかった。 ・子ども達の標語に元気をもらった。 ・標語ポスター作成は、とても良いと思う。これからも続けて欲しい。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		学校と青少協のニーズに応じて連携し開催している。	広報	事業の周知	A		青少協からのプリント掲示板・各学校内・公民館等にポスター掲示広報誌にて報告
	住民の参加	A		コロナ禍により、以前よりは参加が減っているが、久しぶりの開催で賑わっていた。地域文化祭として定着してきている。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		青少協が募集した標語であるが、ポスター化することにより、より多くの地域住民の目に触れることができ、大変喜ばれている。まち推としての取組は妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		本郷地区青少年育成協議会 国富小学校 本郷小学校 本郷中学校 宮崎第一中学校					
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 各種団体と連携し事業実施した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	広報誌の発行事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：みんなでつくる輝く本郷</p> <p>まちづくり活動を広くPRすることで、地域活動への理解や参画を図ります。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷まちづくり推進委員会の事業内容や活動をより多くの人に発信し周知を図るとともに、メンバー募集により活動の拡大を図る。 ・地域の施設や景観等を紹介し、郷土愛を育みまちづくりの雰囲気向上を図る。 														
事業内容・手段	<p>令和4年8月：「きらり 本郷」年1回発行 自治会世帯配布・本郷地区内スーパー配布（1回8,000部）</p> <p>令和5年2月：「ほんごう」統合版 年1回発行（約9,513世帯ポスティング） （本郷地区自治会・社会福祉協議会・本郷公民館）</p>														
事業費	826,286円														
対象者	本郷地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	30人	17人	合計	30人	17人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	30人	17人													
合計	30人	17人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーでとても見やすかった。 ・写真記載で活動の様子がよくわかり見やすかった。 ・統合版においては、本郷地区自治会・本郷地区社会福祉協議会・本郷公民館他団体と連携し広報誌を発行することができた。また、本郷地域全体にポスティングすることで、存在が大きくなった。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	学校・団体を考慮して写真を掲載している。合同版を発行する事で他団体の広報誌が白黒からカラーにできた。	広報	事業の周知	A	A	各事業の紹介をすることでまちづくりの活動を周知できた。
	住民の参加	A	A	自治会班回覧、本郷地域の各学校に各戸配布することで、地域に周知できた。合同版をポスティングする事で地域住民に周知できた。		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの事業の中で、本郷地域住民の関わりをたくさん広報誌で掲載する事ができた。	事業の必要性		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	本郷地区自治会連合会 本郷地区社会福祉協議会 本郷公民館 本郷地区体育会		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 統合版を本郷地域全体にポスティングすることで、本郷地域の団体の活動を自治会加入者だけでなく、広く周知する事ができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済	<意見への対応>		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						<意見への対応>		

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	OA機器等購入費等積立事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標：みんなでつくろう輝く本郷 まちづくりの活動を支援し、まちづくりを推進します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>まちづくり事業全般のイベントやプレゼンテーション等に使用している、アンプ・マイク・プロジェクター・スクリーン・カメラ等、又データを保存するために使用している外付ハードディスク、その他本郷地区安全パトロール隊及び本郷まちづくり推進委員会の車両に搭載されている車載用SD付アンプスピーカーセット・ドライブレコーダーの故障、破損により必要となる購入費を積立てる事により、スムーズなまちづくり活動を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>現在使用中のOA機器、視聴覚機器、音響機器等の故障、破損により必要となる購入費用を積み立てる。 <積立> 令和4年5月17日(火): 積立</p>														
事業費	100,000円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	特になし														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	特になし	広報	事業の周知	A	A	事業報告書
	住民の参加	A	A	特になし		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	現在使用中のOA機器、視聴覚機器、音響機器等の故障、破損により必要となる経費である。	事業の効果		住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	特になし		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 特になし							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	本郷地区拠点施設事例視察事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標：安心して暮らせる本郷</p> <p>災害に強い安心の本郷</p> <p>子育てしやすい本郷</p> <p>高齢者にやさしい本郷</p> <p>気楽に集まれる場を作りましょう</p> <p>地域で助け合いましょう</p> <p>近所付き合い、顔の見える関係を築きましょう他</p>														
目的 (期待される効果)	<p>先進地を実際に視察し及び説明を頂くことにより、参加者の情報を享受することができ、本郷地域自治区地域協議会にて実現に向け協議している、拠点施設整備の啓発となる。</p>														
事業内容・手段	<p>県内の事例を選定した上、バスに同乗し視察研修を実施</p> <p>本郷の地域魅力発信事業内容を小さい集落ながら先駆的に取り組みをしている綾町の上畑公民館から説明を受け、地域内をウォーキングする。</p> <p><視察></p> <p>令和4年10月25日(火): 綾上畑公民館</p>														
事業費	75,498円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12人</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	12人	16人	合計	12人	16人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	12人	16人													
合計	12人	16人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>綾町は自治公民館が地域づくりの拠点として位置付けられている。上畑地区は90世帯205名の集落で加入率は100%である。全員が誇りに思う元気いっぱいの「一つの家族」であることを強調された。</p> <p>ふれあい調査を地区全員参加で行い、地域の自然、食、人、歴史等あらゆる「お宝」を洗い出しマップに表現した。これらはふれあいマップとして、フットパスコース作りにも生かされている。ウォーキングでは、地域住民に声掛けしてもOKで親切に対応していただける。本郷マップももう少し深堀した方が良いかもしれない。</p> <p>イオン環境財団と連携した「イオンの森」の植樹で里山復元事業が実施されていた。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		地域魅力発信プランの実現には非常に参考になった。	広報	事業の周知	B		地域協議会小委員会等で、内容の事前説明が不足していた。
	住民の参加	B		定員に対して参加が少なく、地域協議会小委員会を中心として多く参加して欲しかった。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		先駆的な取り組みを自治公民館主体で行っていることが素晴らしい、多くを参考にすることが可能である。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	B		前に述べたが、目的達成のためには、地域協議会小委員会や関連する団体の参加を促す必要がある。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 活動内容が、自然を生かし、歴史を掘り起こし、後世へと引き継ぐ糧となっている。またマップ作りで住民のふれあいづくりがなされており、今後、視察事業の継続のための一つの視点となる。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	本郷地区景観整備支援事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p><u>基本目標：歴史ある本郷・歴史をつくる本郷</u></p> <p>景観をよくしましょう。 明るく楽しいまちにしましょう。 地域で助け合いましょう。 各種団体をまちづくりの立場から支え、地域の環境美化に努めます。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>景観整備に努めている各団体の負担を軽減し、より多くの団体との連携を深める。また地域住民の環境美化意識の向上に努める。</p>														
事業内容・手段	<p>本郷地域内で景観整備に努めている各種団体とまち推環境関係事業を共催して実施する。</p> <p><草刈り及び美化活動> 令和4年4月1日～令和5年3月31日(通年)</p> <p>共催団体：赤江未来の会、山崎川をきれいにする会、本郷獅子舞会</p>														
事業費	29,975円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>500人</td> <td>313人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>500人</td> <td>313人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	0人	0人	スタッフ	500人	313人	合計	500人	313人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	0人	0人													
スタッフ	500人	313人													
合計	500人	313人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも草刈りがキレイにされており、とても気持ちが良いです。 ・草が刈られ、花がキレイに咲く山崎川の散歩を楽しみにしています。 ・毎年、山崎川のコスモスが楽しみです。 ・ゴミが捨てられなくなり良かったです。 ・安心して散歩するコースが出来て嬉しいです。 ・安全に散歩ができ、きれいでありがたいです。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		山崎川を中心に景観美化に対する意識が高まってきている。	広報	事業の周知	A		地域掲示板 事業報告書 広報誌にて事業報告
	住民の参加	A		山崎川近隣住民			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		美しいまち本郷、花いっぱいの本郷等、地域住民一体となって環境美化に努めている。まち推として取り組む事は妥当である。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		赤江未来の会 山崎川をきれいにする会 本郷獅子舞会			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 地域団体との連携が取れた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	まちづくり活動支援事業	実施年数	8年目
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標：みんなでつくる輝く本郷 まちづくり活動を支援し、まちづくりを推進します。		
目的 (期待される効果)	まちづくり事業の中で部会だけでなく、全体的に活動をしていくための費用を負担する。		
事業内容・手段	1. 車両のリース費用、維持管理費 2. 事務局用パソコン、複合機のリース費用及びインクなどの補充用品 3. 文具等の購入 4. 郵送・配送費及び切手・封筒購入費 5. 活動中の保険加入代 6. 各部会の活動支援		
事業費	1,239,981円		
対象者	まちづくり事務局、部会員		
参加者数 (内訳)	年度	令和4年度	令和3年度
	一般参加者	36人	127人
	スタッフ	38人	26人
	合計	74人	153人
	事業内容に応じて男女別や年代別データ		
住民の声(アンケートの結果等)	(七夕飾り) ・子どもたちが喜んで、飾りを作ったり、短冊を書く姿が見られた。 ・子どもたちの純粋な願いごとに癒されます。 (社会福祉協議会ウォーキング) ・まちづくりのウォーキングマップを多団体に周知することができた。 ・ゆっくりのんびり地域内を歩くことができ楽しかったです。 (文化講演会) ・本郷の歴史を知らない事ばかりで驚きました。また、是非実施して欲しいです。 ・大変勉強になりました。 (社会教育研究大会大分大会) ・これだけ沢山の事業をされていてビックリ！感動しました。 ・素晴らしい活動の数々、なかなかできないことです。		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	まち推の車両をまち推の事業だけでなく、青色パトロール車両としても活用する。	広報	事業の周知	A	A	自治会や学校にまちづくりの活動を広報誌にて、紹介する。自治会に文書配布や広報活動に協力をお願いをする。
	住民の参加	A	B	事業内容や活動をより多くの人に発信し周知をはかる。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりの活動に自治会や学校に協力をお願いをする。現在、実施中の事業については全て、地域にとって必要であると判断している。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	各事業ごとに各種団体と連携し事業実施している。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの車両を青パトロール車両として使用。 ・全体的の活動を行うための費用負担。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>							対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	青パト活動支援事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	97,480	
2	繰越金	0	
3	協賛金	10,000	青少協
4	負担金	0	
5	合計(A)	107,480	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	63,880	青パト巡回活動 燃料代 12,644 飲物代 4,539 ハロウィン(啓発活動) チラシ印刷代 6,280 お菓子代 32,400 消耗品 8,017
2	役務費	43,600	切手代 33,600 ボランティア保険料 10,000
3	合計(B)	107,480	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷地区防災事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	116,788	
2	繰越金	0	
3	協賛金	150,000	本郷地区自治会連合会
4	負担金	0	
5	合計(A)	266,788	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	24,000	防災講座 講師謝礼 (3,000円×8h)24,000
2	需用費	174,538	本郷地区防災訓練 カップ麺 37,950 薪代 8,372 チラシ代 49,500 炊き出し材料費 4,977 消耗品 32,931 防災かまどベンチ修繕 弁当,パン代 4,480 防災倉庫資機材点検 工具箱一式 28,605 混合油(入替用) 1,530 弁当代 3,313 お茶代 2,880
3	役務費	52,750	本郷地区防災訓練 傷害保険 51,000 防災かまどベンチ 賠償責任保険 1,750
4	使用料及び賃借料	15,500	本郷地区防災訓練 寸胴鍋 15,500
5	合計(B)	266,788	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷地区防災啓発事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	400,940	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	400,940	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	155,440	防災ポスター印刷代154,000 お茶代 1,440
2	役務費	245,500	ポスティング代 146,500 デザイン制作料 99,000
3	合計(B)	400,940	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	防災かまどベンチ設置事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	314,937	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	314,937	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	28,600	技術指導料 28,600
2	需用費	39,387	弁当代 22,110 お茶代 1,440 お茶代(お礼) 13,868 消耗品、雑費 1,969
3	役務費	23,650	運搬諸経費 23,100 振込手数料 550
4	原材料費	223,300	かまど製作料一式 223,300
5	合計(B)	314,937	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	防災かまどベンチ整備事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	197,550	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	197,550	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	158,400	ベンチ製作費一式 158,400
2	役務費	25,950	運搬諸経費 25,400 振込手数料 550
3	委託料	13,200	設置費 13,200
4	合計(B)	197,550	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	54,359	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	54,359	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	39,000	(子育て講演会) 講師謝礼(2名) 18,000 保育士(5名) 21,000
2	需用費	15,359	(こどもまつり) 小物代 4,407 (運動会) パン、ジュース代 3,241 (クリスマス会) お菓子代 7,711
3	合計(B)	54,359	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	山崎川にホタルを飛ばそう事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	29,635	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	29,635	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	20,035	お茶代 1,440 替刃 13,800 ポスター印刷代 4,400 消耗品 395
2	役務費	9,600	傷害保険 9,600
3	合計(B)	29,635	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	緑のカーテン事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	10,930	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	10,930	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	10,930	ゴーヤ苗 1,568 スナップエンドウ苗 2,522 培養土 6,840
2	合計(B)	10,930	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷花いっぱい事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	137,617	
2	繰越金	0	
3	協賛金	30,000	JA宮崎中央(15,000×2回)
4	負担金	0	
5	合計(A)	167,617	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	163,077	花いっぱい(JA花壇) 花苗 88,495 肥料、石灰他 1,208 お茶、弁当 13,802 穴掘り機 1,760 花いっぱい(豆田川) 花苗 56,100 ガソリン代 880 消耗品 832
2	原材料費	4,540	看板修繕費 4,540
3	合計(B)	167,617	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	まつり本郷の交流事業(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
-----	-----------------------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	16,060	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	16,060	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	16,060	コピー用紙 2,130 印刷代 13,930
2	合計(B)	16,060	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	健康ウォーキング実施事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	5,043	
2	繰越金	0	
3	協賛金	60,000	体育会・自治会連合会
4	負担金	0	
5	合計(A)	65,043	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	65,043	チラシ代 39,595 おにぎり代 19,008 色紙代 5,000 お茶代 1,440
2	合計(B)	65,043	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷ふるさと再発見事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	65,426	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	65,426	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	12,000	講師謝礼 12,000
2	需用費	53,426	チラシ印刷代 17,875 図書カード 31,000 お茶代 1,440 雑費、消耗品費 3,111
3	合計(B)	65,426	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	自然体験学習事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	355,462	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	355,462	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	131,062	パックテスト代 19,228 コスモスの種 41,415 培養土,除草剤 15,950 色模造紙,キャンドル 4,180 着火マン 2,392 食パン(お礼) 13,086 お茶代 6,367 消耗品 3,078 温度計(20本) 7,700 パッド(25個) 14,300 広口ペットボトル 3,366
2	備品購入費	224,400	透視度計(20本) 224,400
3	合計(B)	355,462	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	ふれあい夢広場事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	162,774	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	162,774	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,224	ポン菓子 12,096 標語ポスター 7,128
2	役務費	550	振込手数料 550
3	使用料及び賃借料	143,000	ステージ式 143,000
4	合計(B)	162,774	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	広報誌の発行事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	726,286	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	100,000	社協 60,000 自治連 20,000 体育会 10,000 生涯学習10,000
5	合計(A)	826,286	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	617,000	広報誌代(1回分) 98,560 広報誌統合版 517,000 お茶代 1,440
2	役務費	209,286	ポスティング代 209,286
3	合計(B)	826,286	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	OA機器等購入費等積立事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	100,000	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	積立金	100,000	OA機器等積立 100,000
2	合計(B)	100,000	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷地区拠点施設事例視察事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	75,498	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	75,498	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	12,468	食事代 8,400 お茶代 2,880 お菓子代(お礼) 1,188
2	役務費	880	振込手数料 880
3	使用料及び賃借料	62,150	小型バス借上げ代 58,300 入園料 3,850
4	合計(B)	75,498	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区
本郷まちづくり推進委員会

事業名	本郷地区景観整備支援事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	29,975	
2	繰越金	0	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	合計(A)	29,975	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	29,975	草刈機替刃 29,280 混合油 695
2	合計(B)	29,975	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

事業別収支計算書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり活動支援事業
-----	-------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	23,650	
2	繰越金	1,216,303	
3	協賛金	0	
4	負担金	0	
5	利息	28	
6	合計(A)	1,239,981	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	旅費	36,000	役員費用弁償 36,000
2	需用費	297,194	スタッフジャンパー 159,500 文具消耗品他 14,529 カートリッジ(コピー機) 33,660 燃料代 24,465 お茶代 46,080 弁当代 3,720 お礼菓子代他 9,630 トナー回収ボトル 5,610
3	役務費	91,093	通信費 70,330 行事傷害保険 9,933 郵送代(切手) 9,400 振込手数料 1,430
4	使用料及び賃借料	815,694	パソコンリース 246,290 車両リース代 369,600 プリンターリース 91,080 MDクラウドひなた 66,000 HP使用料 42,724
5	合計(B)	1,239,981	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第8号)

積立金管理状況報告書

本郷地域自治区

本郷まちづくり推進委員会

積立金名称	地域掲示板積立事業
-------	-----------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立金	1,000,387	
2	積立額	0	
3	利息	20	
4	合計	1,000,407	

積立金名称	OA 機器等購入費等積立事業
-------	----------------

積立金の収支 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立金	200,002	
2	積立額	100,000	
3	利息	4	
4	合計	300,006	

(様式第10号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年3月23日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字本郷南方4061番地
名 称 本郷まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 小倉 俊二
電 話 番 号 0985-69-8309

令和4年9月6日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、
決算において1,407,590円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越し
ますので届け出ます。

添 付 書 類

令和4年度収支決算(見込)書

令和5年3月23日

令和4年度 本郷地域まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

本郷地域自治区地域協議会
会長 横山 脩二

令和4年度の本郷地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 総括

特にありません。

2. 事業の推進体制

特にありません

3. 各事業への意見 (意見がある事業のみ記載)

事業名	意見
本郷地区防災事業	本郷地区一斉防災訓練の際、本郷中学校1年生の防災教育の一環として、生徒たちによる避難所運営を行った。大変良い取り組みであり、将来災害に遭遇した際にこの経験が大いに役立つと思う。今後も是非事業を継続してほしい。

4. その他

特にありません